



いちのみや大学第 82 回講座

～ 一宮市の登録有形文化財 ～

墨会館と旧湊屋文右衛門邸

日時: 6月14日(日)午前 11 時 00 分～

(受付 墨会館入口にて 10:30～)

講師: 一宮市尾西歴史民俗資料館 学芸員

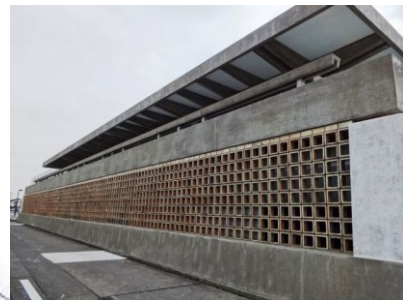
墨会館耐震補強改修当時担当者

場所: 墨会館

旧湊屋文右衛門邸

会費: 1,500 円(食事付き)

定員: 20 名(要予約)



● お問い合わせ・お申込み :

いちのみや大学事務局(有限会社人の森 内)

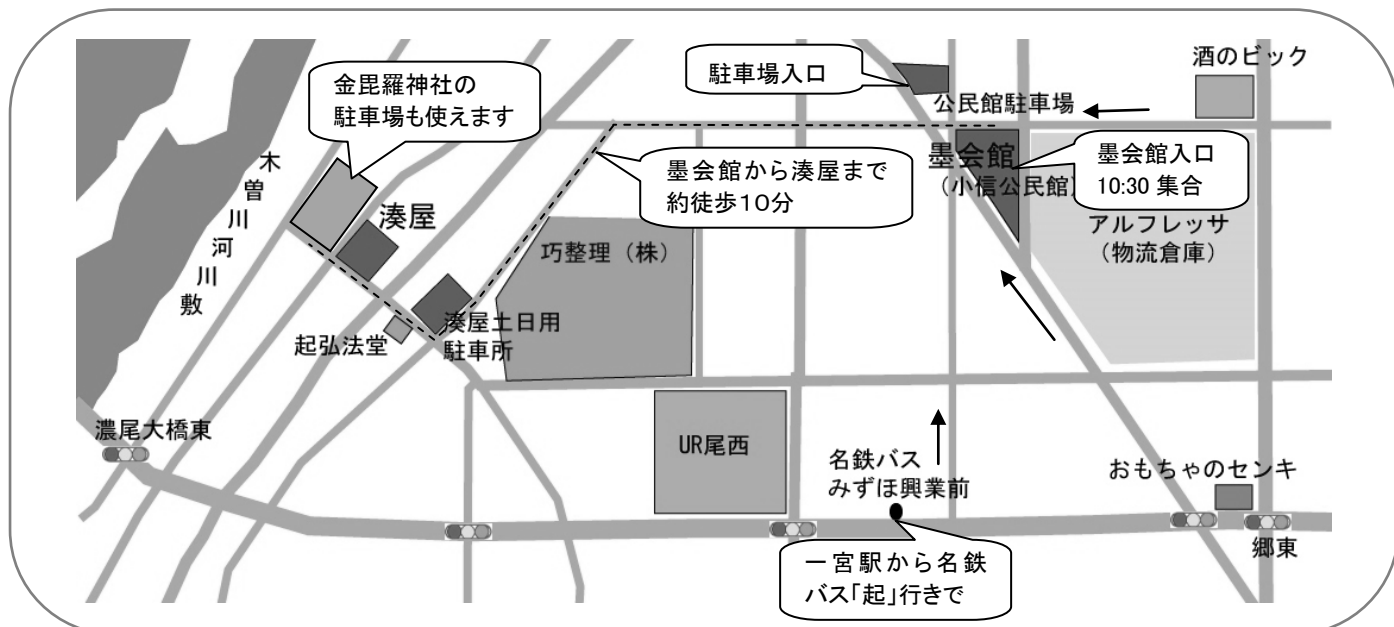
メール info@ichinomiyaigaiku.com

電話 080-4227-8641(平日 10:00～17:00) FAX 0586-72-5445

一宮市にはいくつもの国の登録有形文化財があります。それらのうち、比較的近くにある旧尾西市の小信中島にある墨会館と、起の旧湊屋文右衛門邸の二か所を訪れます。まず墨会館を、耐震補強改修にかかわられた職員の方の案内で見学の後、10分ほど歩いて湊屋へ。湊屋倶楽部会長の大島八重子さんのお話を聞きながら昼食をいただき、学芸員の方から湊屋および登録文化財についてのお話をお聞きします。

墨会館は、世界的建築家 丹下健三が、艶金(つやきん)興業株式会社の事務所として設計した建物で、丹下の初期作品の特徴が見られます。現在は、一宮市が買い取り、小信中島地区の公民館及び尾西生涯学習センターとして市民に開放されています。

旧湊屋文右衛門邸は、美濃路の宿場町であった起宿の街道沿いに位置し、濃尾地震(明治24(1891))にも耐えた数少ない建物で、江戸時代末期の屋敷構成をよく残しています。現在は「茶店湊屋」として、水、土、日曜日の午前10時～午後5時(L.O.16:30)に営業しています。



◆いちのみや大学とは

いちのみや大学は、一宮周辺で様々な分野の知識を持つ人に講師をお願いし、一宮の地域資源を生かし、一宮の街の様々な場所を教室に、ともに豊かに学んでいこうという生涯学習の市民活動です。

◆これからの講座の予定は？

日時	曜日	場所	講師	内容
6月21日 14:00～	日	i-ビル3階 市民活動支援センター 一会議室	元気象庁職員 鈴木 東さん	気象の内緒の話と実験 受講料 500円
6月14日 11:00～	日	墨会館(小信中島) 湊屋(起)	尾西民俗資料館学芸員 墨会館ボランティアガイド	一宮の登録有形文化財について 墨会館と湊屋 受講料 1500円(昼食代含む)
5月10日 14:00～	日	i-ビル3階 市民活動支援センター 一会議室	元一宮市立北方中学校校長 田中 豊先生	いろは丸事件に見る 坂本龍馬の虚像と実像 受講料 500円

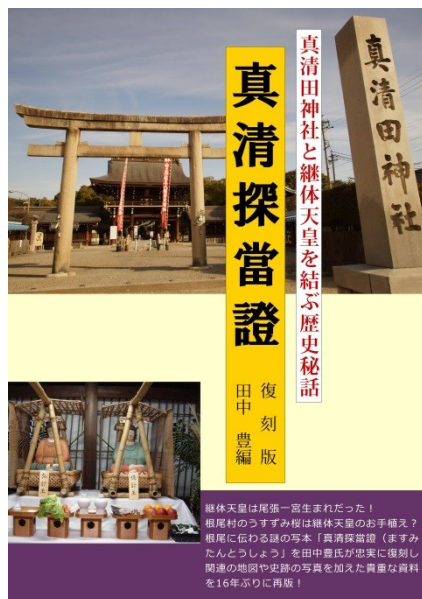
これまでに開催した講座： デジカメ講座、シャンソン、アフリカの音楽、ジャズピアノ、ヴァイオリンについて、古典落語、アートについて、紙のデザイン、洞窟探検の魅力、ネパール料理、韓国料理、日本茶、おから味噌、うすずみ桜と真清田神社のなぞ、織田信長のこと、美濃路・起宿について、船橋楽器資料館、一宮のプラネタリウム、葛利毛織、妙興寺、尾西繊維協会ビル等の見学など

人の森の本

人の森出版事業部が、歴史講座の名物講師田中豊先生の著作で長らく絶版となっていた歴史秘史「真清田探当証」復刻版を再版しました！

昭和の初めに一宮の土川と名乗る老紳士が根尾村に持ち込んだ「真清田探当証」という文書には、継体天皇をめぐる驚くべき内容が記されていました。履中天皇の孫億計王、弘計王がたどったゆかりの史跡や地名が数多く出ており、記紀とは異なる、継体天皇と真清田神社や根尾のうすずみ桜との関係が記述されています。

田中豊先生は、根尾村文化財保護審議会の格別の許可を得てこの貴重な文化財全編を復刻されました。



全 456 頁 定価 3,500 円税

” 巻末には一宮の古地図や参考資料なども収められており、古代史ファンならぜひ手に入れてじっくり全文を読んでみたくなる1冊です。

お問い合わせ・購入希望は下記へ。

有限会社人の森 〒491-0854 一宮市北園通5丁目4-1

tel&fax: 0586-72-5445 (受付時間 電話は平日 10:00～17:00) mail: info@hitonomori.com

いちのみや大学事務局

〒491-0854 一宮市北園通5丁目4-1

tel: 080-4227-8641 / fax: 0586-72-5445 mail: info@ichinomiyadaigaku.com